

成果報告書

地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

団体名	東京邦楽器商工業協同組合		
所在地	〒132-0035 東京都江戸川区平井4-1-17	設立年	1996年
運営主体	東京邦楽器商工業協同組合		
事業目標	<p>本事業を通じて日本古来の伝統文化・芸能をより多くの学生に伝承するため、学校教育の現場、楽器演奏者、楽器製造者が三位一体となり後世にこの伝統文化・芸能を小学校、中学校の教育現場を活用して興味をもたせることが目的である。この事業を通じて演奏は元より、楽器の構造や制作方法を楽器職人からも学べる総合的な事業にする。</p>		
きっかけ	<p>昨今の邦楽器普及の低迷により、日本伝統文化の継承が脅かされ、更にコロナの影響で邦楽業界が存続危機に陥る中、文化庁の地域文化倶楽部(仮称)創生支援事業を発端としより邦楽器の普及に務めるため。</p>		
団体・組織等の連携	<pre> graph TD A[東京邦楽器商工業協同組合 (三味線22社、琴22社)] -- 楽器のレンタル --> B[三味線の演奏学習体験を希望する小・中学校] B -- 楽器指導 --> C[日本長唄協会 端唄協会] C -- 指導依頼 指導料 --> B B -- 指導の依頼 --> D[東京邦楽器商工業協同組合] B -- 楽器手配の依頼 レンタル料 --> E[東京邦楽器商工業協同組合] </pre>		
活動場所	各学校の施設		
活動概要	1クラス、1授業を1講座とし、楽器の歴史や取り扱い方を学習し、演奏練習をしていく		

○本事業による成果

・楽器に関して、レンタルという方法を取り入れることにより、保管場所、管理状況、メンテナンスなどのわずらわしさを解消できる。また、専門業者が行っているため、品質が安定している。また、不足に事態は対応が迅速である。

・講義内容については、長唄協会や、各流派と連携をとり邦楽指導に熱心な指導者の手配ができるため、質の良い講習内容を提供できる。また、楽器のことについては楽器商としての強みを活かし講義が行える。

教員からは、これらの内容が準備、後片付けの手間が大幅に削減できる上に、非常に充実した講習内容を行ってもらえ、指導にも技術の確かな人員が十分に手配して頂いたと満足感が得られたというご意見が多く伺えた。

当組合の目論見と教師との意見が合致できたと考える。

○児童・生徒への指導に関する工夫

・多くの方楽器体験では和風で馴染みのある曲として「さくらさくら」が多く取り入れられているが、あえて古典の曲の一節を練習曲用にアレンジして講習を実施した。邦楽器の雰囲気により伝わり、邦楽を学んでいる実感があるという声が得られた。

・西洋音楽との邦楽との比較演奏をしてそれぞれの魅力の有り様の違いを実感してもらった。

・ただ楽譜をみて、楽器を弾くという指導方法ではなく、手移しという指導方法を取り入れせ、生徒自ら観察力、注意力を引き出し、観察力のアンテナを広げる様な指導を試みた。

○運営上の工夫

当組合では、講習を行うにあたり、専門店と学校との協議を重ね、更に専門店と演奏家との打ち合わせを重ね円滑に講習が行えるように構築してきた。

楽器においては、専門店が準備及び管理、メンテナンスを万全にキシ、指導においては、邦楽知識に豊富な演奏家に指導を依頼した。

それにより、各講習は生徒からも、邦楽に対して、興味を引き出せたことを確信した。

○継続的な運営に関する課題・展望

継続的な運営について、講習を開催するにあたり、楽器の準備と講師の派遣については組合でパッケージ化ができています。また、開催場所に関しても学校の施設で十分行えるため、利用させていただければと思っています。

運営費用に関しては、自治体や教育委員会と協議を行っている。

邦楽器は、日本の伝統的文化であるにも関わらず浸透していないのが現状である。身近に気楽に接する場面をより多く設け、学校や地域、長唄協会などとの連携し拡充して行きたいと考えている。

当組合は楽器商からなる協同組合であり、各自治体からも信頼して事業を移管することができると自負している。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

継続的な事業展開を学校側からの要望があるが、費用の問題が残る。それに伴う算出方法が確立できれば、学校教育の現場における伝統文化の普及継承が望める。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	764名(中学生:327名 小学生:437名)
	学校名	練馬区立石神井東中学校、武蔵野市立第四中学校、板橋区立板橋第一小学校、豊島区立明豊中学校、大田区立入新井第一小学校、大田区立池雪小学校、葛飾区立四ツ木中学校、世田谷区立三宿小学校
	募集方法	各楽器店から地域の小中学校に打診。
指導者	人数等	講師:4名 指導補助:10名
	募集方法	各楽器店から協力いただける講師を募集。
参加者の移動手段		なし
活動費用	指導者謝金等	指導者謝金、謝金 12,000円/時間 指導者補助 謝金 6,400円/時間
	その他	楽器運搬費 35,000円/回 楽器レンタル費 2,000円/台 会場費、学校の為無料
活動財源	会費	なし
	その他	なし
スケジュール	基本活動	各学校との打ち合わせにて
	年間	各学校との打ち合わせにて
保険加入等		なし

【活動の様子（写真添付）】

武蔵野第四小学校



入新井第一小学校



四つ木中学校



板橋第一小学校



石神井東中学校



三宿小学校



明豊中学校

